

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

- 黙祷 ルカ 5:4-6 …… 御言葉に耳を傾け心を主に向けましょう。
- *賛美 …… 170番 主のみ慈しみ
- *交読文 …… 37番
- *使徒信条 …… 会衆一同
- *頌栄 …… 179番 良き知らせを
- 礼拝のための祈り …… 成田エクレシア:浪川執事 天声:小林伝道師
- 聖餐式 …… 281番 しみもとがも
- メッセージ …… 新しい領域へ入った神の民が取るべき作法(ヨシュア記 15 章)
- 御言葉を適用する祈り …… 会衆一同
- 賛美 …… 408番 父なる神の恵みは
- 献金感謝の祈り …… パスター
- 報告 ……
- *主の祈り …… 会衆一同
- *祝祷 …… パスター

天声教会は

- ・御言葉なる主の御声を忠実に聞く教会。(ヨハネ 1:1、マタイ 3:17、17:5)
- ・主の御言葉を心で信じて義に至る教会。(ローマ 10:10)
- ・全能なる主の御言葉を口で告白し、救いに至る教会。(ローマ 10:10)
- ・受けた恵みを愛と忍耐をもって実践する教会。(第二テサロニケ 3:5)

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

____が行って取ろうとする地は、____が出てきた世の土地のようではない。あそこでは、青物畑でするように、____は種をまき、足でそれに水を注いだ。しかし、____が渡って行って取る地は、山と谷の多い地で、天から降る雨で潤っている。その地は、____の神、主が顧みられる所で、年の始めから年の終りまで、____の神、主の目が常にその上にある。(申命記 11:10-12)

悪しき者のはかりごとに歩まず、罪びとの道に立たず、あざける者の座にすわらぬ____はさいわいである。このような____は主のおきてをよろこび、昼も夜もそのおきてを思う。このような____は流れのほとりに植えられた木の／時が来ると実を結び、その葉もしばまないように、そのなすところは皆栄える。(詩篇 1 篇)

____は他の子らにまさって祝福される。____はその兄弟たちに愛せられ、その足を油にひたす事ができるように。____の貫の木は鉄と青銅、____の力は____の年と共に続くであろう。(申命記 33:24-25) イエス様のお名前によってその通りになります！アーメン

今、学業やビジネス、人生において、新しい領域に入った聖徒達が結構おられる。主が新しい事をしようと動いておられる今、神の民が新しい地へ入った箇所、ヨシュア記から、この時期に必要な恵みを得たい。

かつてエジプトで奴隷とされていた神の民・イスラエルは、神様の強力な御手によって脱出し、約束の地へと進んでいった。しかし彼らは、強そうな先住民を見て恐れ、主の約束とは逆方向の、エジプトへ戻ろうとし、結局40年もの間、荒野でさ迷う事になってしまった。その、不従順の世代が死に絶えた時、主は、新たな指導者ヨシュアを立て、超自然的な方法でヨルダン川を渡り、敵はそれを聞いて大いに恐れた(1 節)。こうしてついに、彼らが新しい地に足を踏み入れた時、主が真っ先に命じられた事は、**割礼**だった。

割礼は、神の民が祝福の領域の、さらに深みへと入って行く上で、決して外せない課程である。私達・キリスト者が受けるべき割礼は、肉体に刃を通す割礼ではなく、御霊による御言葉の剣で施す「**心(カルディア:思い、意志、感覚)**」の**割礼**である(ローマ 2:29)。すなわち、以前の神様抜きで生きてきた思考パターンや”くせ”など、神様抜きの思考、意思、感覚を、御言葉の剣で切り取り、御言葉の感覚で生きる事である。

割礼は、覚悟と痛みを伴う行為である。イスラエルの民は、傷が癒えるまで、そこにいた。私達も、自分自身を、御言葉の剣の前へと差し出す時、それまで生きてきた肉体的な思いや感覚にある種の「痛み」を覚えるが、それを乗り越えた先には安息と祝福が待っている。イスラエルの民が割礼を施した時、主は言われた。「**今日わたしはエジプトのそしり(ケルバー:侮辱、恥)を、あなた方から取り除いた(ガラル:転がる)**」(9 節)

そう、かつてはエジプトで、屈辱的な奴隷生活を強いられていた。私達も以前、罪とサタンとの奴隷状態で、世から搾取されて来たが、御言葉の刃で割礼を受けるなら、キリストにあって自由となり、以前の罪の不名誉も、屈辱も取り除かれ、心置きなく、恐れなく、新しい人生の領域へと邁進し、奪い返す事ができる。

続いて彼らが実行したのは、**過越祭**だった。過越祭は、神様がエジプトから贖い、導き出して下さり、もはや自分達は、奴隷ではなく自由とされた民、神に買い戻された民である、という事を思い起こす祭りである。

私達も、キリストの十字架の血潮で贖われ、解放され、自由とされた事を思い起こす時、主は、さらに**新たな領域へと、導き上ってくださる**。事実、イスラエルは、新たな領域へ入った。すなわち、**その翌日からマナが降る事が止んで、その時から彼らは、その地で収穫した物を食べはじめたのだ(12 節)**。

マナが止む、、それは、新しい領域へ入った事のサインである。マナは、エジプトから約束の地へと行く途上の彼らに与えられた、一方的な恵みの食物だった。マナが降る間、彼らは、耕したり働いたりしなくても、食べて行けた。しかしこれからは、**神様が雨を降らせ、耕して下さり、豊かに実らせてくださる、というこの約束の地において、荒野では味わえなかった、バラエティに豊んだ、豊かな産物を得て行くのだ**。

主が約束されたその地は、**エジプトの地のようではない**。そこでは自分で種をまき、自分の足で水を注いだが、約束の地は、山と谷の地、神様が降らせてくださる雨で潤っている地である。そこは、**主が顧みられる地**で、年の始めから、年の終りまで、常に、主の目が注がれている地である。(申命記 11:10-12)

その地に入った時、守るべき事は、主の御言葉によく聞き従い、主を愛し、心をつくし精神をつくして仕える事である。そうするなら、主は先の雨、後の雨を降らせ、穀物やぶどう酒、油を取り入れさせ、また、家畜のために草を生えさせられ、飽きるほど食べることができる。**しかし**、主を捨てて他の神々に仕えるなら、**天は閉ざされ、地は産物を出さず、その良い」からすぐに滅び去ってしまう、とも言われた**。(同 13-17 節)

そういうわけで私達は、以前の生き方、古い罪の性質から、徹底して離れるべきである。ヨシュアが、イスラエルの民に割礼を施し、過越の礼拝を捧げた時、**主の軍の将が現れ、そして具体的な勝利の方法が伝授された**(ヨシュア記 5:13-15)。その時、主の軍の将が真っ先に言われた事は、「**あなたの足の履物を脱げ。あなたの立っている場所は聖なる所である**。」だった。私達も、**主の前にきよさを保つべきである**。

それまで足で踏んで来た、汚れまみれの履物を脱ぎ、主の前に進み出て、**主から直接、勝利の秘訣を伝授してもらう**のである。私達はキリストに贖われ、きよくされ、聖なる民とされた。全く新しくされた者として、主が置かれた栄光の将来を掴んでいく皆さんでありますように！イエス様の名前によって祝福します！

